

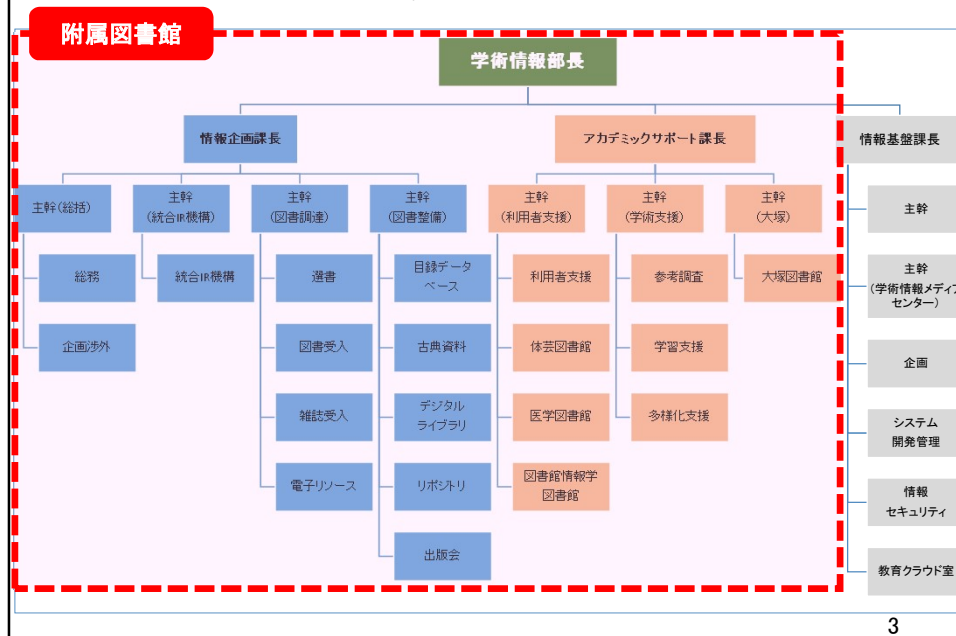
筑波大学附属図書館 (学術情報部) について



Index

1. 学術情報部の組織と業務	3- 6
2. 附属図書館の概要とサービス	7-10
3. 特徴的なサービスや取り組み	11-15
4. 先輩のメッセージ	16-28

筑波大学学術情報部組織図



学術情報部の所掌

(学術情報部)

第18条の2の2 学術情報部に置く課の名称は、次のとおりとする。

- (1) 情報企画課
- (2) アカデミックサポート課
- (3) 情報基盤課

附属図書館

「国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程」

情報企画課の業務

2 情報企画課は、次の業務を遂行する。

- (1) 図書、雑誌その他の資料 (以下「図書館資料」という。)の収集及び管理に関すること。
- (2) 学内で生産された学術情報の収集及び発信に関すること。
- (3) 図書館システムの整備及び管理に関すること。
- (4) 統合IR機構に関すること。
- (5) 筑波大学出版会に関すること。

「国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程」

5

アカデミックサポート課の業務

3 アカデミックサポート課は、次の業務を遂行する。

- (1) 学術情報の提供に関すること。
- (2) 図書館資料の相互利用に関すること。
- (3) 附属図書館における学習及び教育の支援に関すること。
- (4) 附属図書館における学習環境の整備に関すること。

「国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則施行規程」

6

中央図書館と4つの専門図書館

- 中央図書館
【1979.10～】
- 体育・芸術図書館
【1974.7～】
- 医学図書館
【1978.7～】
- 図書館情報学図書館
【2002.10～】
図書館情報大学(1981～)との統合により発足
- 大塚図書館[東京キャンパス]
【1989.6～】
放送大学文京学習センター図書室と合築(2011～)
- ※蔵書総数: 約275万冊



7

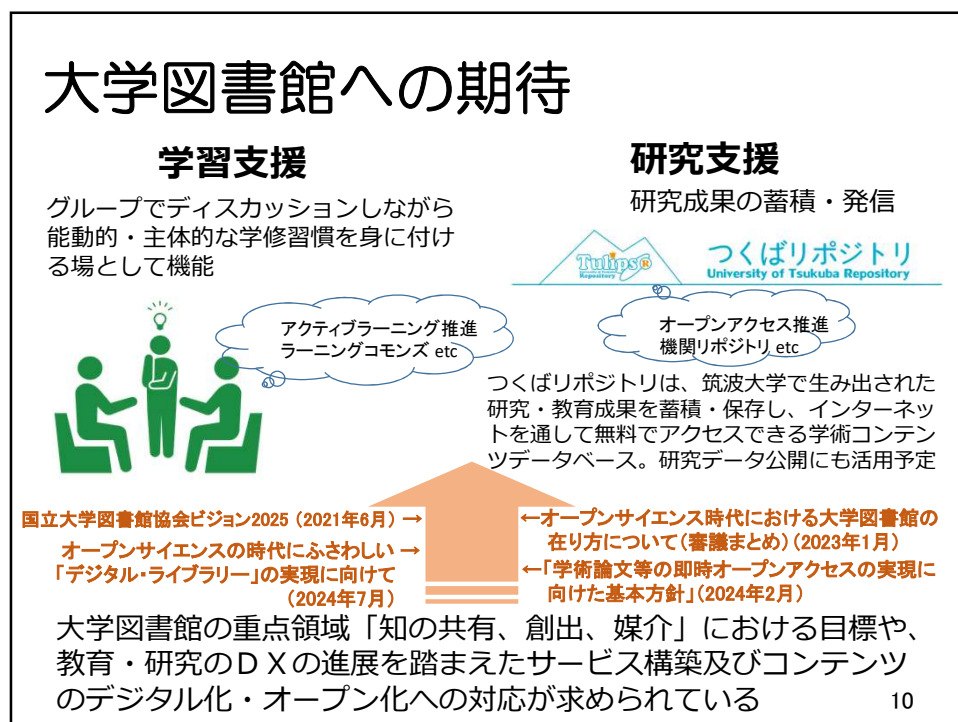
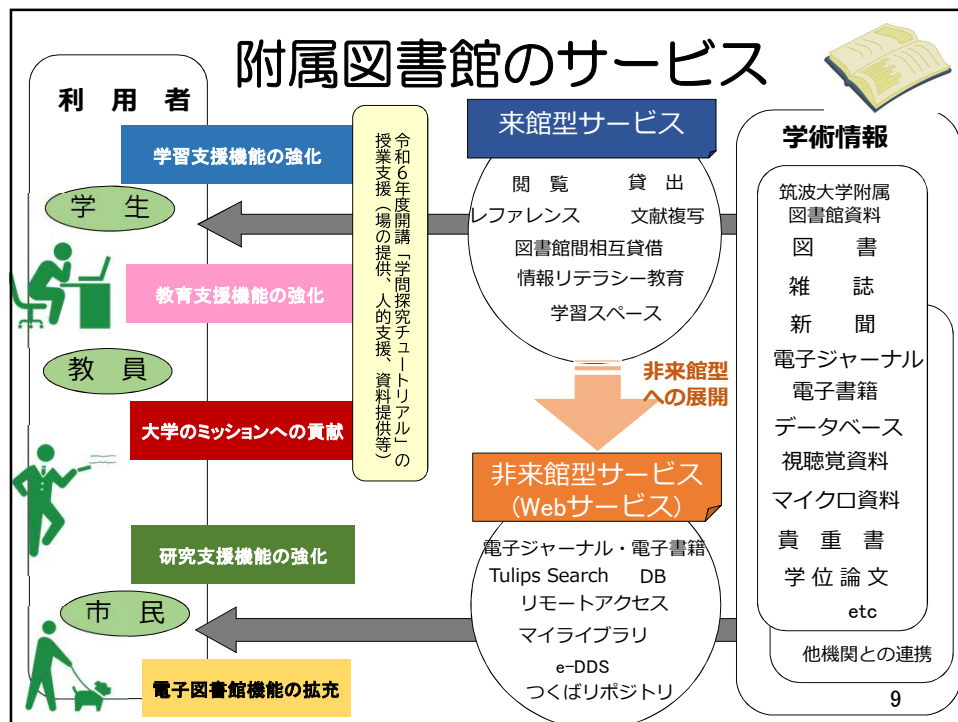
附属図書館の特徴

- 開かれた図書館（サービス面）
 - 全面開架、学外者利用（昭和54年度：中央図書館開館時～）
 - 貴重書類を除き閉架書庫が無い、資料への自由なアクセス
 - 学外者へ、入館、閲覧、レファレンスサービスの提供
 - 図書館ボランティア（平成7年度～）
 - 地域住民への、生涯学習・社会貢献の機会提供
 - 学外者への貸出利用証の発行（平成17年度～）
- 業務処理の集中化（運用面）
 - 中央図書館による、受入整理業務の集中処理
 - 専門図書館は、利用者サービスに注力



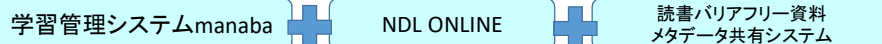
図書館ボランティアによる
おりがみ講習会

8



多様な利用者へのサービス 障害のある学生・教員への資料電子化サービス

視覚障害やページめくりが困難な運動障害等のある学生・教員に対し、
図書や雑誌論文をPDFやテキストデータにして提供するサービスを
学内関係部署と連携して実施



職員 附属図書館 多様化支援担当

(参考調査担当・選書担当などが協力)

学生 LS (Library Support) グループ

ピア・チューター (障害のある学生の支援活動に携わる学生)
で、図書館での図書電子化サービスに携わるグループ

学内ワークスタディ



対面朗読室 (新館2階)



11

附属高校へのサービス

- 「高大連携図書館サービスパッケージ」 (平成31年1月～)
 - ・図書資料貸出サービス
 - ・レファレンスサービス
 - ・文献複写サービス

- ・附属高校の図書館や教員を
窓口 서비스에 提供

→ 筑波大学附属高等学校、
駒場中・高等学校、坂戸高等学校



「学術情報の探し方講習会」
(令和6年1月19日)

- ・近隣の高校 (竹園高校、茗溪学園、並木中等教育学校) 等へもサービス提供を試行

12

貴重資料の修復・電子化公開 展示会による資料公開

○修復・電子化資料の展示会

「歴聖大儒像 儒者のまなざし」

(令和4年5月)

「孔子をまつる

ー歴聖大儒像

儒者の世界ー」

(令和4年11月)

本学が所蔵する
「歴聖大儒像」
6幅を、各種財団
の助成を得て
修復・電子化し、
特別展を行った。

〔歴聖大儒像〕
孟子像 (修復後)



○所蔵資料の展示会

「古典籍のインターフェース」

(令和5年10月～11月)



百万塔

現存する開版年代が明らかな印刷物として世界最古のものとして知られる。



13

つくば市との連携・協力

- ・「つくば市域図書館連携に関する協定書」締結
(令和元年9月25日)

つくば市立図書館 + 筑波大学附属図書館

→ 情報、資源、活動成果等の交流促進・連携活用

- ・「筑波大学附属図書館とつくば市立中央図書館との相互貸借について(申合せ)」締結 (令和3年6月)、相互貸借開始



令和元年11月2日

協定締結記念セレモニー及びイベント (ライブラリー・ピクニック) 開催¹⁴

筑波大学出版会（平成19年7月1日設立）

筑波大学の幅広い分野の研究成果をわかりやすい形で社会に発信し、わが国の学術文化の振興に寄与する。（学術書、教科書、一般教養書など）



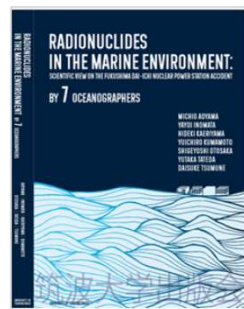
越智 博美[ほか] 編

2023年5月26日初版発行
ISBN978-4-904074-78-7
A5判/並製/478ページ
本体価格 7,810円＋税
【電子版】もあり



「科学の芽」賞実行委員会 編

2024年6月19日初版発行
ISBN978-4-904074-82-4
B5判/並製/202ページ
本体価格 3,300円＋税
【電子版】もあり



青山 道夫[ほか] 著

2023年5月26日初版発行
ISBN978-4-904074-76-3
B5判/並製/370ページ
本体価格 23,000円＋税
【電子版】もあり

15

筑波大学附属図書館 先輩のメッセージ

森島 葉月

学術情報部 情報企画課 電子リソース担当

令和4年4月採用（前職あり）

試験区分：図書



附属図書館キャラクター
ちゅーりつぷさんと がまじやんぽー

16

私の仕事

◆ 仕事内容

- ・電子ジャーナルやデータベースの契約、支払
- ・電子ジャーナル、電子ブックの購読管理
- ・電子ジャーナル、データベース、電子ブックのライセンス管理
- ・APC（=Article Processing Charge, 論文をオープンアクセスにするための出版費用）調査



など、電子リソースに関する業務を幅広く担当

確実に契約手続を行うことで、契約期間の切れ目なく
電子ジャーナル・データベースを利用者に提供
学習・研究環境を支えています

17

私の仕事

◆ 年間の主なスケジュール

4月	アクセスチェック システムへの登録内容メンテナンス 支払処理
5月～ 6月	JUSTICE契約状況調査回答作成 電子ジャーナルのアクセスチェック、受入処理
7月～ 8月	電子ジャーナルの契約手続き開始 他大学への契約実績照会
9月	インターンシップ対応 JUSTICE版元提案説明会
10月～ 12月	電子ジャーナル、データベースの契約手続き
1月	アクセスチェック システムへの登録内容メンテナンス 支払処理 電子ジャーナル、データベースの契約手続き
2月～ 3月	電子ジャーナル、データベースの契約手続き 支払処理

◆ ある日のスケジュール

8:30	始業
	開館準備（新聞配架） メールチェック JUSTICE契約状況調査 回答作成 など
12:15～ 13:15	昼休み
	電子ジャーナルの アクセスチェック JUSTICE出版社交渉 APC調査 など
17:15	終業

18

私の仕事

◆ 印象に残った仕事

令和7年度以降の筑波大学における電子ジャーナル等の整備方針策定に事務局として携わったこと

採用1年目から大きな仕事に関わることができます

◆ 担当以外の仕事

- ・ 展示WG
令和4年～5年に展示WGのメンバーとして活動し、特別展、企画展の開催に携わった

他の係の方と関われる良い機会
資料の展示も行うため、貴重資料にも触れることができます
実際に、特別展の撤収作業で巻物を巻いたことも！

令和5年度企画展図録表紙→
昨年度は図録担当として
編集に携わりました



19

筑波大学の魅力

◆ 人・職場の雰囲気がいい

いい人が多く、上司にも質問や相談がしやすい雰囲気です。
同期とも仲が良く、お昼と一緒に食べたり旅行に出かけたりしています。
中途入職の場合、同期とのつながりは持てないと思っていたのでありがたかったです！

◆ 中央図書館と個性豊かな専門図書館

筑波大学には、中央図書館のほかに体育芸術・医学・図書館情報学・大塚の4つの専門図書館があります。各専門図書館は蔵書にも特色があり、大変魅力的です。

中央図書館には貴重書展示室もあります。当館の所蔵資料を紹介している常設展は、昨年11月にリニューアルされたばかりなので、機会があれば是非足を運んでみてください。

20

筑波大学を目指すみなさまへ（二次試験対策）

◆ 専門試験について

関東甲信越地区図書系HPに掲載されている過去問を解く。
解答がないので、インターネットや近所の公共図書館の関連本を使って調べました。
オープンアクセス等最近の話題については押さえておくと思います。

◆ 面接について

面接シートに書いた内容を自分の言葉で伝えられるようにしておく。
専門試験の内容や、これまで図書館について勉強してきた印象に残った単語も聞かれました。

本日まで参加くださったみなさまが、筑波大学で働くことに魅力を感じ
選択肢の一つとして考えてくださればうれしいです。

みなさまが希望の道に進まれることをお祈りしています。

筑波大学附属図書館 先輩のメッセージ

岩村 良子

学術情報部アカデミックサポート課 参考調査担当

自己紹介

- 名前：岩村 良子（いわむら りょうこ）
- 略歴：
 - 2021年4月採用（区分：図書）
 - 2021年4月～2023年3月 医学図書館勤務
 - 2023年4月～ 中央図書館参考調査担当
- 他大学出身 / 日本文学を専攻していました
- 他大学の図書館で非常勤職員として働いていた経験あり
 - * 働きながら採用試験を受験しました
- 休日の過ごし方：
 - 観劇（ミュージカルが好きです） / 猫の動画を見る など



23

私の仕事

相互利用業務

利用者の求めに応じて、当館にない文献（論文・図書）を他大学・機関から取り寄せます。また、他大学・機関からの依頼で当館所蔵資料の複写物を提供したり、図書を貸出します。

・公共図書館や海外の大学図書館に文献を依頼したり、本学の資料について問い合わせを受けることもあります。

レファレンス業務

レファレンスデスクで文献の探し方などの相談を受け付けます。

例えばこんな質問・
・〇〇について知りたいが、調べ方が分からない
・電子ジャーナルを学外から利用したい
・本学の博士論文を閲覧したい
・図の引用許可について知りたい

その他：
訪問利用のための紹介状発行 / 所蔵資料の使用（出版・放映等）許可 / 参考図書の選書 etc・・

◆ ◆ メンバーで分担・協力して仕事をしています ◆ ◆



24

私の仕事

【ある日のスケジュール】



25

私の仕事

印象に残っていること

学習支援推進WGのメンバーとして、学問探究チュートリアル授業の設営と見学をしたことです。授業でも「場」として活用される図書館を実際に見て嬉しく思いました。また、大学の取り組みを身近に感じることができました。

心がけていること

的確で細やかな案内はもちろんのこと、ただ文献を提供したり、ただ答えを教えるだけではなく、利用者の目線に立ち、少しでも相手に寄り添った対応をしたいと考えています。また、文献調査では、自分の力だけでは時に行き詰ってしまうことがありますが、そんな時は上司や先輩に相談するよう心がけています。経験豊富な上司・先輩からいただくアドバイスは、解決の糸口となることが多いです。

26

筑波大学を目指す皆さんへ

筑波大学附属図書館の魅力

筑波大学は「開かれた大学」として、様々なバックグラウンドを持った人々が集まり、多様な研究が行われています。よって、図書館に持ち込まれる文献調査や問い合わせも多岐にわたります。分かりやすい対応を目指して試行錯誤する日々ですが、少しでも利用者のお役に立てるとやりがいを感じますし、いろいろな発見、気づきを得ながら業務に取り組むことができていると実感しています。

将来へのビジョン

私は、今までいわゆるサービス系(利用者対応)の業務に就いてきましたが、「どのように検索システムが動いているのか」「どのように資料が調達されているのか」といった資料を管理する業務にも興味を持ち始めました。

今までもこれからも、業務で得たすべての経験を活かしながら、多角的に図書館の未来を考えていくことのできる人になりたいです。



27

筑波大学を目指す皆さんへ（最後に）

私は学生時代から、資料に当たって調べることが好きでした。
筑波大学附属図書館には、
あなたが学んできたこと、経験してきたことが
活かせる業務がきっとある！
一緒に働くことができることを楽しみにしています。



28